

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、緩やかに拡大しつつある」

項目	前回（平成31年4月判断）	今回（令和元年7月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに拡大しつつある	緩やかに拡大しつつある	→

（注）令和元年7月判断は、前回平成31年4月判断以降、令和元年7月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、ドラッグストア販売が好調となっているほか百貨店・スーパー販売が緩やかに回復していることなどから、全体としては緩やかに拡大しつつある。生産活動は、化学が拡大しているほか、生産用機械が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスが足踏みの状況にあり、全体としては拡大の動きに一服感がみられる。雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が強まっている。

【各項目の判断】

項目	前回（平成31年4月判断）	今回（令和元年7月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに拡大しつつある	緩やかに拡大しつつある	→
生産活動	拡大のテンポが緩やかになっている	拡大の動きに一服感がみられる	→
雇用情勢	着実に改善しており、人手不足感が強まっている	着実に改善しており、人手不足感が強まっている	→
設備投資	平成30年度は増加見込みとなっている	令和元年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	平成30年度は増益見込みとなっている	令和元年度は減益見込みとなっている	→
住宅建設	持ち直している	持ち直している	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、景気が緩やかに拡大していくことが期待される。ただし、通商問題の動向、中国経済の先行きなど海外経済の動向に関する不確実性が企業活動に与える影響を一層きめ細かく注視するとともに、人手不足に伴う影響などに注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに拡大しつつある」

百貨店・スーパー販売は、スーパーでは飲食料品に動きがみられることなどから前年を上回っている。一方、百貨店では高額品や化粧品に動きがみられるものの、衣料品の動きが鈍いことなどから前年を下回っている。以上のような状況などを踏まえると、全体では緩やかに回復している。コンビニエンスストア販売は、飲料等に動きがみられることから、堅調となっている。ドラッグストア販売は、新規出店効果や飲食料品等に動きがみられることから、好調となっている。ホームセンター販売は、園芸用品等の動きが鈍いことから、弱い動きとなっている。家電大型専門店販売は、エアコン等の白物家電やテレビに動きがみられることから、緩やかに回復しつつある。新車販売台数は、普通乗用車、軽自動車は前年を上回っているものの、小型乗用車は前年を下回っており、回復に向けたテンポが緩やかになっている。主要温泉地の宿泊客数は前年を下回っているものの、主要観光地の来訪客数は前年を上回っている。旅行取扱実績は、国内旅行、海外旅行ともに動きがみられることから、堅調となっている。以上のことから、個人消費については、緩やかに拡大しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 中食・簡便需要の高まりに加え、改元の祝賀ムードによりオードブル等にも動きがみられるなど、惣菜は引き続き好調。また、5月の気温の上昇に伴い涼味商品が好調で、飲料や冷たい麺類は品切れとなる日もあった。(スーパー、大企業)
- 化粧品、ブランド品は引き続き好調。衣料品については、春物衣料で苦戦が続き、5月に入ってから動きはみられたものの、単価の低い商品であったことから売上で見ると厳しい。また、お中元商戦については、例年よりも早めに動きがみられ、出足としては良かったものの、伸び悩んでいる。(百貨店)
- 5月の気温上昇に伴い、飲料や冷やし麺、アイスに動きがみられた。(コンビニエンスストア、大企業)
- 新規出店効果や飲食料品が好調なことから売上を伸ばしている。(ドラッグストア、中堅企業)
- エアコンを中心とした白物家電に動きがみられる。(家電大型専門店、大企業)
- 普通乗用車について、新型車発売後は、予想を上回るような受注状況となっている。(自動車販売店、中小企業)

■ 生産活動 「拡大の動きに一服感がみられる」

電子部品・デバイスは、自動車向けが増加しているものの、スマートフォン向けに弱さがみられることから、全体では足踏みの状況にある。化学は、大宗を占める医薬品が後発医薬品を中心に拡大している。生産用機械は、半導体製造装置に弱さがみられるものの、金属加工機械が持ち直しているほか、繊維機械、建設・鉱山機械が増加していることなどから、全体では緩やかに回復している。金属製品は、大宗を占めるアルミ建材で、住宅用が弱含んでいるほか、ビル用が弱い動きとなっていることから、全体では弱い動きとなっている。繊維は、非衣料向けが堅調となっているほか、衣料向けに動きがみられることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。以上のことから、生産活動については、拡大の動きに一服感がみられる。

- 自動車向けは堅調に推移しているものの、スマートフォンの高額化、製品性能の頭打ち感等による市場の飽和感を背景とした販売不振の影響からスマートフォン向けは低調に推移しており、全体では減少している。(電子部品・デバイス、大企業)
- 国のジェネリック医薬品推奨による需要拡大で、多くのメーカーは自社の生産能力を超える受注状況であることから、当社への製造委託が増加している。(化学工業、中堅企業)
- 年明け以降、中国において投資への慎重姿勢がみられており、中国向けの受注が弱含んでいるものの、これまでの受注残がかなり溜まっていることもあり、工場はフル稼働が続いている。(生産用機械、大企業)

■ 雇用情勢 「着実に改善しており、人手不足感が強まっている」

有効求人倍率は高水準で推移している。新規求人数、新規求職者数ともに前年を下回っている。雇用保険受給者実人員は前年を上回っている。以上のことから、雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が強まっている。

- 土日も含めてフル稼働となっている。採用活動にも力を入れているものの、十分な応募がない状況である。特に品質管理を行う人材が不足しており、製品を生産しても品質管理で滞り、出荷に影響が出ることもある状況。(化学工業、中小企業)
- アルバイト・パートについて不足感を強く感じている。求人を出しても、同業他社や他業態との競合により、なかなか採用まで至らない。(小売、大企業)

- 人手の過不足感はなく、適正水準にある。一部のラインで一時的に不足しても拠点間の応援で対応が可能なレベルである。(金属製品、大企業)
- 直近の有効求人倍率は3か月連続で低下しているものの、足下の新規求人数は高い水準であり、有効求人倍率が低下したというより、落ち着いてきた印象。(労働局)

■ **設備投資** 「令和元年度は増加見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」平成31年4-6月期

- 製造業では、自動車・同附属品などが減少となるものの、化学工業、その他製造業などが増加となることから、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業では、金融、保険などが減少となるものの、不動産、情報通信などが増加となることから、全体では増加見込みとなっている。

- 生産設備増強や新工場建設などにより増加見込み。(化学工業、大企業)
- 既存工場の耐震補強などにより増加見込み。(その他製造業、大企業)
- ネットワーク通信網の整備などにより増加見込み。(情報通信、大企業)

■ **企業収益** 「令和元年度は減益見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」平成31年4-6月期

- 製造業では、化学工業などが増益となるものの、繊維工業、情報通信機械器具などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業では、建設などが増益となるものの、学術研究、専門・技術サービス、不動産などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」平成31年4-6月期

- 企業の景況判断BSIは、全産業では「下降」超となっている。先行きは、「下降」超となる見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「持ち直している」

- 新設住宅着工戸数で見ると、持ち直している。

■ **公共事業** 「前年を上回っている」

- 前払金保証請負金額で見ると、前年を上回っている。

■ **金融機関の貸出金** 「前年を上回っている」

- 金融機関の貸出金は、前年を上回っている。

■ **企業倒産** 「前年を上回っている」

- 件数、負債総額ともに前年を上回っている。

■ **消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)** 「前年を上回っている」

- 消費者物価指数で見ると、前年を上回っている。

3. 各県の総括判断

	前回(平成31年4月判断)	今回(令和元年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
石川県	回復している	回復している	➡	生産活動は回復のテンポが緩やかになっているものの、個人消費は回復している。また、雇用情勢は着実に改善しており、人手不足感が強まっている。
富山県	回復している	回復している	➡	生産活動は拡大に向けたテンポが緩やかになっているものの、個人消費は回復している。また、雇用情勢は着実に改善しており、人手不足感が強まっている。
福井県	緩やかに拡大しつつある	緩やかに拡大しつつある	➡	生産活動は拡大の動きに一服感がみられるものの、個人消費は緩やかに拡大しつつある。また、雇用情勢は着実に改善しており、人手不足感が強まっている。